第８号様式（第１０条関係）

不適格建築物調書

※確認済証番号 確認済証交付年月日		地域・地区	
建築主の住所及び氏名	(電話・ＦＡＸ)番号		
建築場所			
工事の概要	□増築　□改築　□移転　□大規模の修繕　□大規模の模様替　□用途変更		
全体計画認定	□無し　□有り　認定工事数　回　今回工事第　回		

	基準時(注５)	現在	除却部分	申請部分	合計
敷地面積	m²	m²	m²	m²	m²
建築面積	m²	m²	m²	m²	m²
延べ面積	m²	m²	m²	m²	m²
不適格部分(注６)	m²	m²	m²	m²	m²

不適格建築物の概要							
用途		構造		階数			
適用を受ける既存不適格建築物に対する制限の緩和の根拠		不適合の条項並びにその部分の位置及び番号(注７)			基準時（注５）及び理由	既存不適格建築物であることの根拠を示す添付書類の種類(注８)
法の条項	施行令の条項	条項	位置	番号		

備考	

(注)　１　※欄には、記入しないでください。
２　工事の完了後においても引き続き建築基準法第３条第２項の規定の適用を受ける部分のみ記入してください。
３　確認申請書の正本及び副本にそれぞれ１部を添付してください。
４　該当するものの□内にレ印を記入してください。
５　「基準時」とは、建築基準法施行令第１３７条の規定による期間の始期をいいます。
６　不適格部分欄には、建築基準法施行令第１３７条の７、第１３７条の１２第４項又は第１３７条の１６の規定の適用を受ける場合のみ面積を記入してください。
７　建築物の配置図及び各階平面図に不適合の部分の位置及びその番号を明示してください。
８　既存不適格建築物であることの根拠を示す添付書類として検査済証、登記事項証明書等の証拠となる書類を添付してください。